

M I S U M I A r t C o l l e c t i o n

## 『Horse Blinders (North)』 1972年 ジェームズ・ローゼンクイスト

ローゼンクイストは1957年から1960年までは看板絵描きとして生計を立てていましたが、後にアンディ・ウォーホルや、ロイ・リキテンスタインのようなポップアートを代表するアーティストの一人となりました。

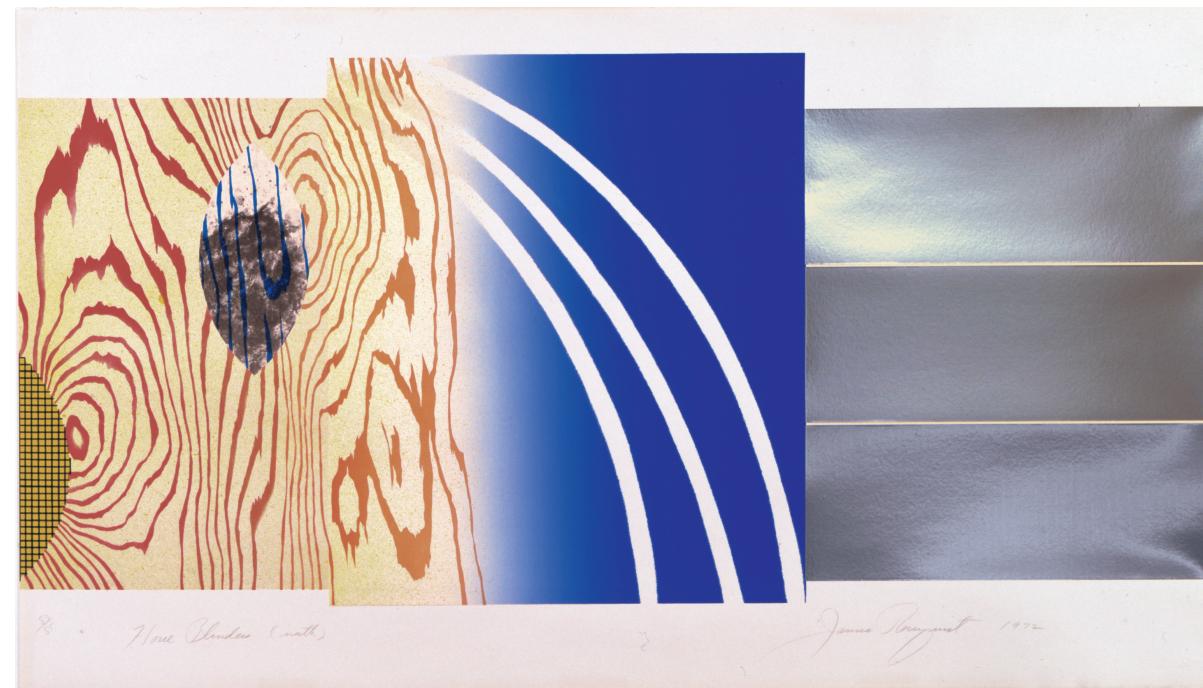
『Horse Blinders』シリーズはWest、North、East、Southの4枚セットから成り、明るく強い色彩と斬新なデザインが看板同様に鑑賞者の目を引きまします。

大量生産された商品や言語文化を断片的に、不合理に、かつ不思議に組み合わせることで、シュルレアリスト（超現実主義）の作品のような前衛的な表現を生み出しています。

 **MiSUMi** | Your Time, Our Priority

# ミスミグループ通信 vol.62

2024年4月1日～2024年9月30日



© 2024 James Rosenquist Foundation / ARS, NY & JASPAR, Tokyo E5781

MISUMI Art Collection

ジェームズ・ローゼンクイスト  
『Horse Blinders (North)』

解説は裏表紙をご覧ください。

株式会社 ミスミグループ本社

〒102-8583 東京都千代田区九段南1丁目6番5号 九段会館テラス  
TEL:03-6777-7501 FAX:03-5211-7502  
URL: <https://www.misumi.co.jp/>



株式会社 ミスミグループ本社

証券コード: 9962

# “デジタルモデルシフト” × “地域毎成長戦略” を一層加速



代表取締役会長  
西本 甲介

代表取締役社長  
大野 龍隆

当中間連結会計期間における世界経済は、製造業を中心とする設備投資需要がグローバルで回復基調ながら想定よりも緩やかなものとなりました。中国、アジアおよび日本を中心に需要が底堅く推移し、主要顧客産業である自

動車関連の一部に加え、半導体・電子部品等も回復の兆しが見られました。一方、欧米においては市況の低迷や地政学リスク等の影響が続いており、設備投資への慎重な姿勢が見られ、低調に推移しました。

こうした環境において、当社はメーカー事業と流通事業を併せ持つユニークな業態を活かしています。これを支える事業基盤をグローバルで進化させ、顧客の确实短納期ニーズに応えることで世界の製造業を中心とした自動化関連産業に貢献しています。これまで当社が築いてきたIT、生産、物流の強固な事業基盤やグローバル拠点網を活用しながら、新商品・新サービスを含む新事業開発を継続し、顧客の需要を的確に捉えることに努めました。

この結果、連結売上高は198,022百万円(前年同期比10.0%増)となり、為替効果もあり上期として過去最高を更新しました。セグメント別では、FA事業は、中国や日本を中心に需要を着実に獲得し、売上高は66,854百万円

(前年同期比15.5%増)となりました。金型部品事業は、中国・アジア・日本において自動車関連需要が回復基調にある一方、欧米は引き続き軟調であり、売上高は42,819百万円(前年同期比8.9%増)となりました。VONA事業は、海外全地域において堅調に推移し、売上高は88,347百万円(前年同期比6.6%増)となりました。

利益面につきましては、持続的成長に向けた施策に関する支出は継続しましたが、売上数量増・商品ミックスおよび為替効果等により、営業利益は23,390百万円(前年同期比26.3%増)、経常利益は25,221百万円(前年同期比26.1%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は18,200百万円(前年同期比28.3%増)となりました。

## デジタルモデルシフトの加速により、独自施策を強化し成長拡大を企図

連結業績予想につきましては、当中間連結会計期間において、グローバルで製造業を中心とする設備投資需要等は緩やかな回復傾向が見られ、当社独自施策の効果もあり、売上・利益ともに2024年4月26日公表の業績予想を上回りました。一方で今後も市況の不透明性は続いており、これまでの進捗や足元の需要動向などを勘案し、通期の連結業績予想につきましては、2024年10月25日公表の通り上方修正し、売上高は過去最高を更新する見込みです。

今後の主な取り組みとしましては、引き続き、多様化が

進む自動化顧客ニーズに対応すべく、デジタルモデルの継続開発に努めるとともに、地域毎成長戦略とのシナジーにより、ユニークな競争優位性を築いてまいります。

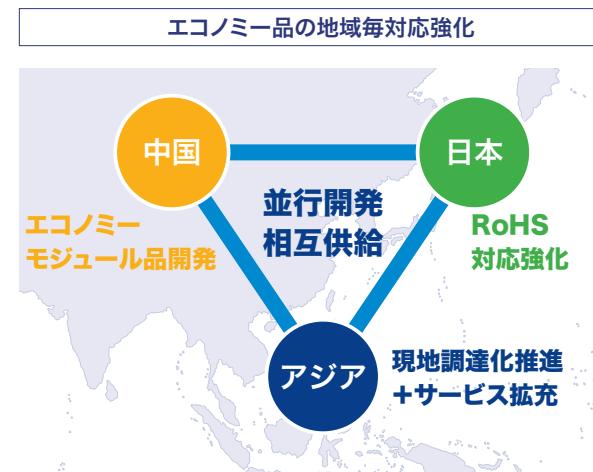
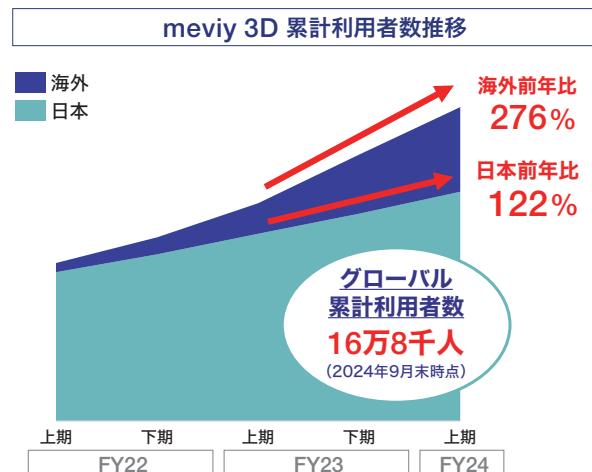
「デジタルモデルシフト」の第1弾として展開したオンライン機械部品調達サービス「meviy」については、順調に展開を加速しています。累計利用者数はグローバルで16万人を超え、今後はグローバル顧客の多様なニーズに適應する商品・システムを順次強化してまいります。また、9月より新たな加工品受注プラットフォームとして、顧客の仕入先検索等の膨大な手間を省き、ワンクリックで調達が可

# Top Message

## トップメッセージ

能なサービス「meviyマーケットプレイス」の展開を開始しました。厳選したパートナーと協業し、今までmeviyで加工範囲外だった領域へも対応を拡張、顧客の部品調達における手間を大幅に削減することで、商品範囲の拡大と利便性向上の同時実現を可能としました。

加えて、第2弾の価格競争力に優れた「エコノミー品」については、中国・アジア・日本での浸透が拡大しています。各地域の顧客需要を踏まえて独自に開発した商品やツールによって差別化を図る施策が奏功しており、売上は堅調に推移しました。



最後に第3弾の、大量調達でも顧客希望数量を短納期で応える「D-JIT」については、数量対応力向上で順調に顧客数を伸ばしており、テスト展開中の海外地域も含め売上は拡大しています。

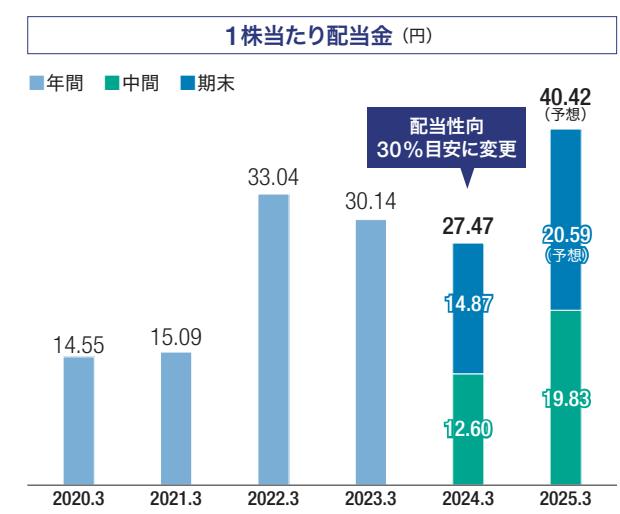
また当社は2024年10月7日、パンチ工業株式会社と資本業務提携契約を締結しました。両社の強みを最大限に活かし、自動化装置やその周辺部品、金型用部品に限らず、標準品から特注品までの幅広い金属加工分野全般において、相互に補完・強化しながら、共に成長・発展してまいります。

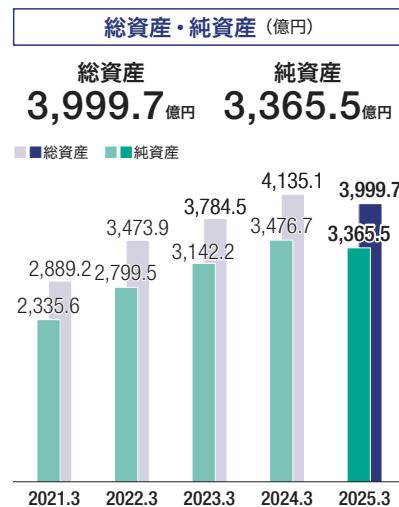
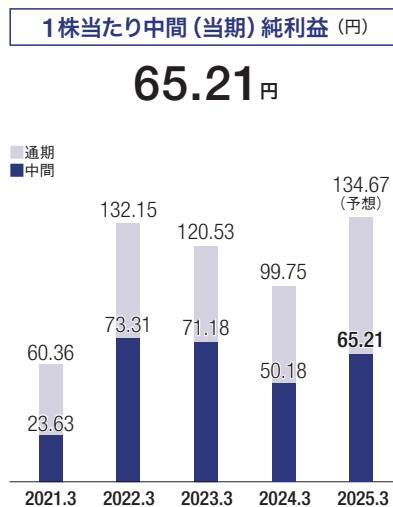
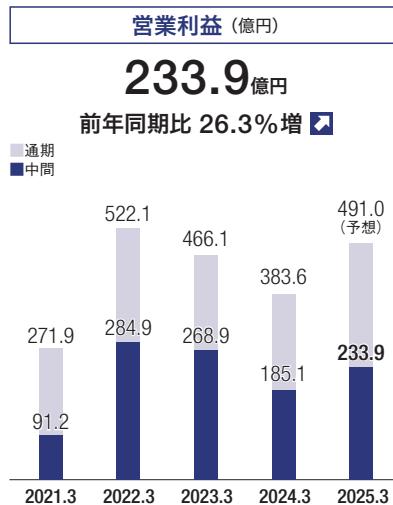
### 「meviyマーケットプレイス」の展開開始



## 年間配当金も40円42銭へ上方修正

当社は、中長期的な視点での成長投資と株主の皆さまへの還元につきましては、バランスを取りながら実施しており、配当に関しましては、経営基盤拡充、財務体質の強化、資本効率の向上なども勘案し、2024年3月期の期末配当より配当性向30%を基準に決定しております。これにより、1株当たり中間配当金は19円83銭（前年同期比7円23銭増）とさせていただきます。期末配当予想につきましては、2025年3月期連結業績予想の修正により、1株当たり期末配当金を20円59銭（前年同期比5円72銭増）に修正し、年間配当金は1株当たり40円42銭の見込みとなります。





詳細な財務情報は当社ホームページ「株主・投資家情報」へ <https://www.misumi.co.jp/ir/>

## セグメント概況

### FA事業



製造装置、生産自動機などに利用する精密機械部品の開発・生産・販売をしています。

### 金型部品事業

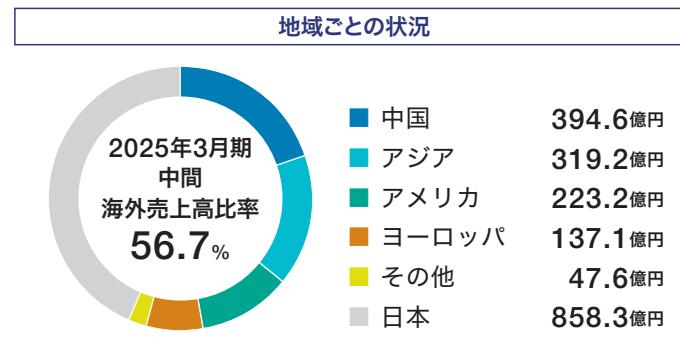
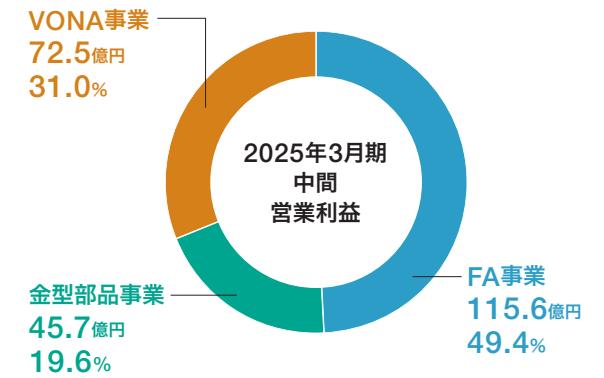
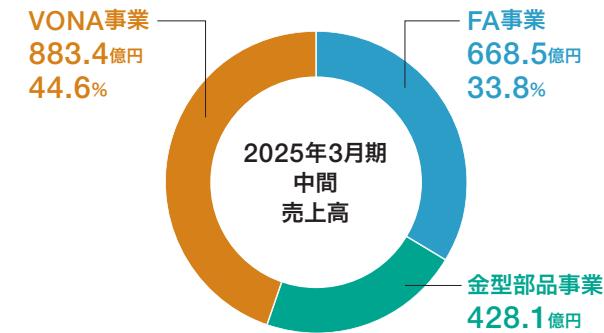


プレス部品、樹脂成型部品を量産する金型に組み込む標準部品や精密部品の開発・生産・販売をしています。

### VONA事業



他社商品も含めた自動化関連間接材から消耗品まで幅広い商品群を販売する流通事業です。ミスミブランドの他、グローバル3,000社以上のメーカーが参画しています。



# カスタマーサポート表彰制度「優秀賞」を受賞

～製造業ならではの個別要望にDXを活用、お客さま満足度と生産性向上を両立～

当社はこのたび公益社団法人企業情報化協会 (IT協会) が主催する「2024年度カスタマーサポート表彰制度」において、お客さま満足度向上とローコストオペレーションの実現への取り組みが評価され、「優秀賞」を受賞しました。9月に行われた表彰式では、受賞した取り組みについて、「製造業ならではの商習慣とご要望、DXとカイゼンでお客さま満足とローコスト化を両立」と題し、日本企業体副社長 荘司 秀佳が講演を行いました。

今後もサービスの拡大を通して、IA (インダストリアル・オートメーション) 産業のお客さまに、グローバルで時間価値を提供し、生産性の向上に貢献してまいります。



T 時間	<b>42%短縮</b>	商品の技術お問合せ
Q 満足	<b>20%良化</b>	問合せ対応 顧客満足度
C コスト	<b>66%削減</b>	ご注文の人手対応

## 評価ポイント

製造業ならではの商習慣への対応や、3,000万点を超える膨大な商品に関する問合せ対応、またその専門知識の習得などにより、カスタマーサポートのオペレーションコストが増大し、お客さま満足度にも影響を与えていた。その中で、お客さま満足度向上とローコストオペレーション両立を目指し、カイゼン活動とRPAやAI-OCR (人工知能光学文字認識) を活用した業務自動化を推進した。

これらの取り組みの結果、**応対時間は42%短縮**、**顧客満足度も20%良化**し、**オペレーションコストも66%削減**を実現。自社課題を冷静に分析し、長期的、継続的な視点での様々な活動が素晴らしいとして、優秀賞に相応しい取り組みであると評価。



日本企業体副社長  
荘司 秀佳

## 「カスタマーサポートプロフェッショナル100人衆」に選出

同表彰式内にて、当社日本企業体 ユーザーサービス推進室 ジェネラルマネジャーの井上協江が「カスタマーサポートプロフェッショナル100人衆」に選出されました。

### 選出理由

業務理解を背景に、国内当該部門のRPAやAI-OCRの活用促進をリードし成果をもたらした。自動化の進化の傍ら、オペレーターをRPAのエンジニアとして育成、センター業務以外の多能工化を推進し、EX (従業員体験価値) 向上と顧客時間価値創出の両立にも寄与した。



日本企業体 ユーザーサービス推進室  
ジェネラルマネジャー 井上協江

### ■ カスタマーサポート表彰制度とは

企業の顧客戦略の充実と、それに伴うカスタマーサポートの推進・発展に寄与したと認めうる企業、団体、機関および個人に対して、IT協会より賞を授与する制度です。当社が受賞した「優秀賞」は、取り組み内容が特に優れており、企業経営について顕著な成果をあげたと認定された場合に授与されます。

### ■ 「カスタマーサポートプロフェッショナル100人衆」とは

IT協会が主催する当年度のカスタマーサポート受賞企業の中から、特に顕著な活躍・貢献をしたと思われる個人を選出し、表彰されるものです。本年は受賞企業の中から17名が選出されました。

## Corporate Data

### 会社情報

#### 会社概要 (2024年9月30日現在)

商号	株式会社ミスミグループ本社 (英文名: MISUMI Group Inc.)
設立	1963年2月23日
本社	東京都千代田区九段南1丁目6番5号九段会館テラス
資本金	143億4千6百万円
事業内容	FA事業・金型部品事業・VONA事業、各事業を中心とした企業グループの経営戦略・立案、管理・運営など
従業員数	11,039名(2024年3月31日現在のミスミグループ連結)
URL	<a href="https://www.misumi.co.jp/">https://www.misumi.co.jp/</a>



#### ミスミグループトップマネジメント (2024年6月13日現在)

取締役				名誉会長			
代表取締役会長	西本 甲介	代表取締役社長	大野 龍隆	三枝 匡			
専務取締役	清水 新	常務取締役	金谷 知樹	常務取締役	清水 重貴	取締役	徐 少淳
取締役(筆頭社外)	中野 庸一	取締役(社外)	栖関 智晴	取締役(社外)	矢野 圭子		

#### 経営執行役 統括G役員

代表取締役会長	西本 甲介	代表取締役社長	大野 龍隆				
専務取締役・CIO デジタルトランスフォーメーション システムプラットフォーム 代表執行役員 SCMオペレーションプラットフォーム 代表執行役員	清水 新	常務取締役 中亞事業統括 アジア企業体社長	金谷 知樹	常務取締役 日本企業体社長	清水 重貴		
取締役 中国企業体副社長 ミスミ(中国)精密機械貿易有限公司 董事長兼総経理	徐 少淳	常務執行役員 ID*企業体社長	吉田 光伸	常務執行役員 中国企業体社長	荒川 亨		
常務執行役員 米州企業体社長	大洞 龍児	常務執行役員 人材・法務プラットフォーム 代表執行役員	佐々木 貴子	CFO・常務執行役員 ファイナンスプラットフォーム 代表執行役員 SXプラットフォーム 代表執行役員	高波 徹		

#### 経営執行役

日本企業体副社長	荘司 秀佳	日本企業体副社長 ME事業統括	川上 浩一	OST企業体社長	渡邊 宣公
Factory-MRO企業体社長	馬場 隆	欧州企業体社長	村田 規明	生産プラットフォーム 代表執行役員	遠矢 工
Gateway推進本部長	鷺見 昌丈	DJシステム推進本部長	木戸 雄介		

#### 監査役

監査役	男澤 一郎	監査役	和田 高明	名誉会長・第2期創業者	三枝 匡
監査役(社外)	野末 寿一	監査役(社外)	青野 奈々子	特別顧問・創業者	田口 弘

※ ID=Industrial Digital Manufacturing

## Shareholders Memo

### 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	6月	
基準日	定時株主総会・期末配当金	3月31日
	中間配当金	9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社	
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料、平日9:00 -17:00)	
同送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場	
公告の方法	電子公告 ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。	
公告掲載URL	<a href="https://www.misumi.co.jp/ir/">https://www.misumi.co.jp/ir/</a>	

#### 書面交付請求について ~インターネットのご利用が困難な株主さまへ~

- 株主総会資料は原則ウェブサイトにてのご提供となります。  
その為、従来通り株主総会資料を書面で受領ご希望の株主さまは、お手続きが必要となります。
- ▶ 書面交付請求の受付期限は、株主総会の基準日までにお申し出が必要です。
  - ▶ お手続き方法については、お取引のある証券会社または株主名簿管理人にお申し出ください。

#### 注意事項

##### 業績予想に関する留意事項

この資料に掲載されている通期の見通しおよび将来に関する記述部分につきましては、現時点で入手可能な情報をもとに、ミスミグループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、実際の業績は、様々な要素により、これら事業予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

##### 住所変更、買取請求その他各種お手続きについて

原則、株主さまの口座のある証券会社にお問い合わせください。なお、特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。